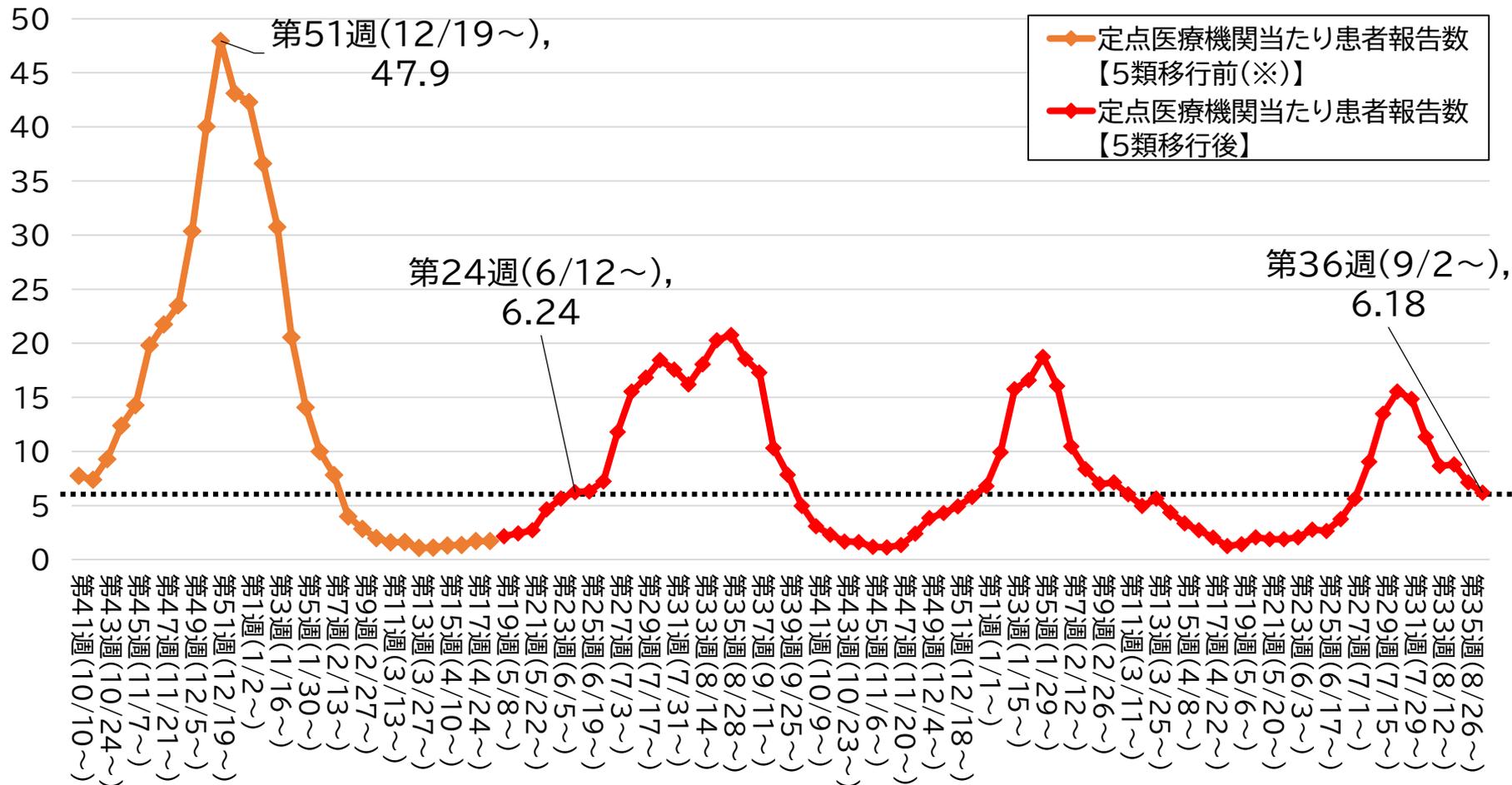


# 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

# 県内新型コロナウイルス感染症 定点医療機関当たり患者報告数推移

2022年第41週～2024年第36週（2022年10月10日～2024年9月8日）

- ◆ 2024年第36週の定点医療機関当たり患者報告数は6.18（前週比：0.87, 前週報告数：7.13）
- ◆ 2023年第24週と同程度の感染状況（1日あたり約390人）と考えられる。



2022年

2023年

2024年

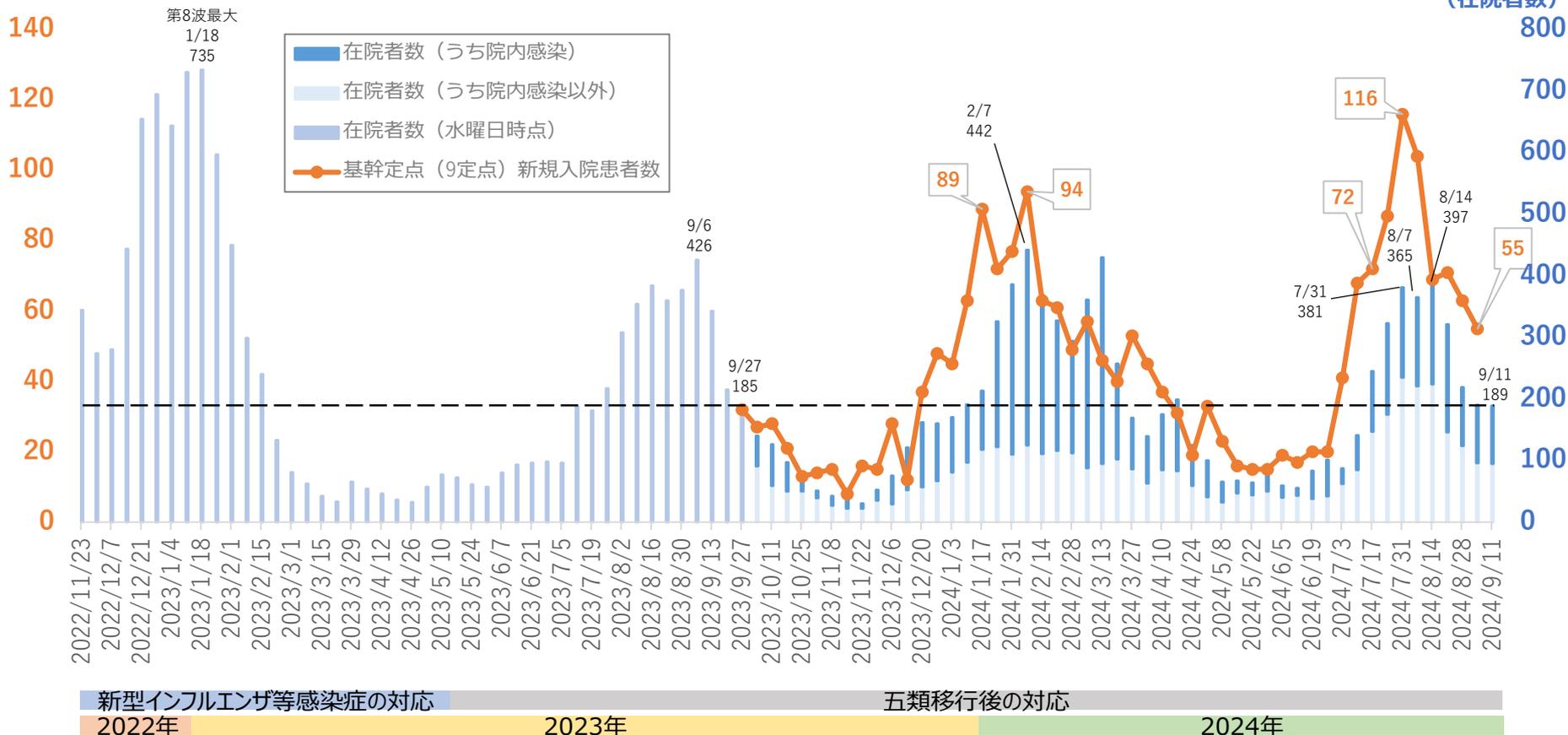
※第18週以前の定点医療機関当たり患者報告数については、厚生労働省発表資料【定点医療機関合計報告数と定点当たり報告数（令和4年10月3日～令和5年5月7日の週次データ）】より引用

# 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）在院者数

2022年11月23日～2024年9月11日

- ◆ 7月以降、在院者数が増加。直近2週間は、9月4日に190人（前週比29人減）、9月11日に189人（前週比1人減）と減少傾向にある。
- ◆ 昨年度と比較すると、2023年9月下旬の在院者数に近い水準となっている。

（基幹定点新規入院患者数）

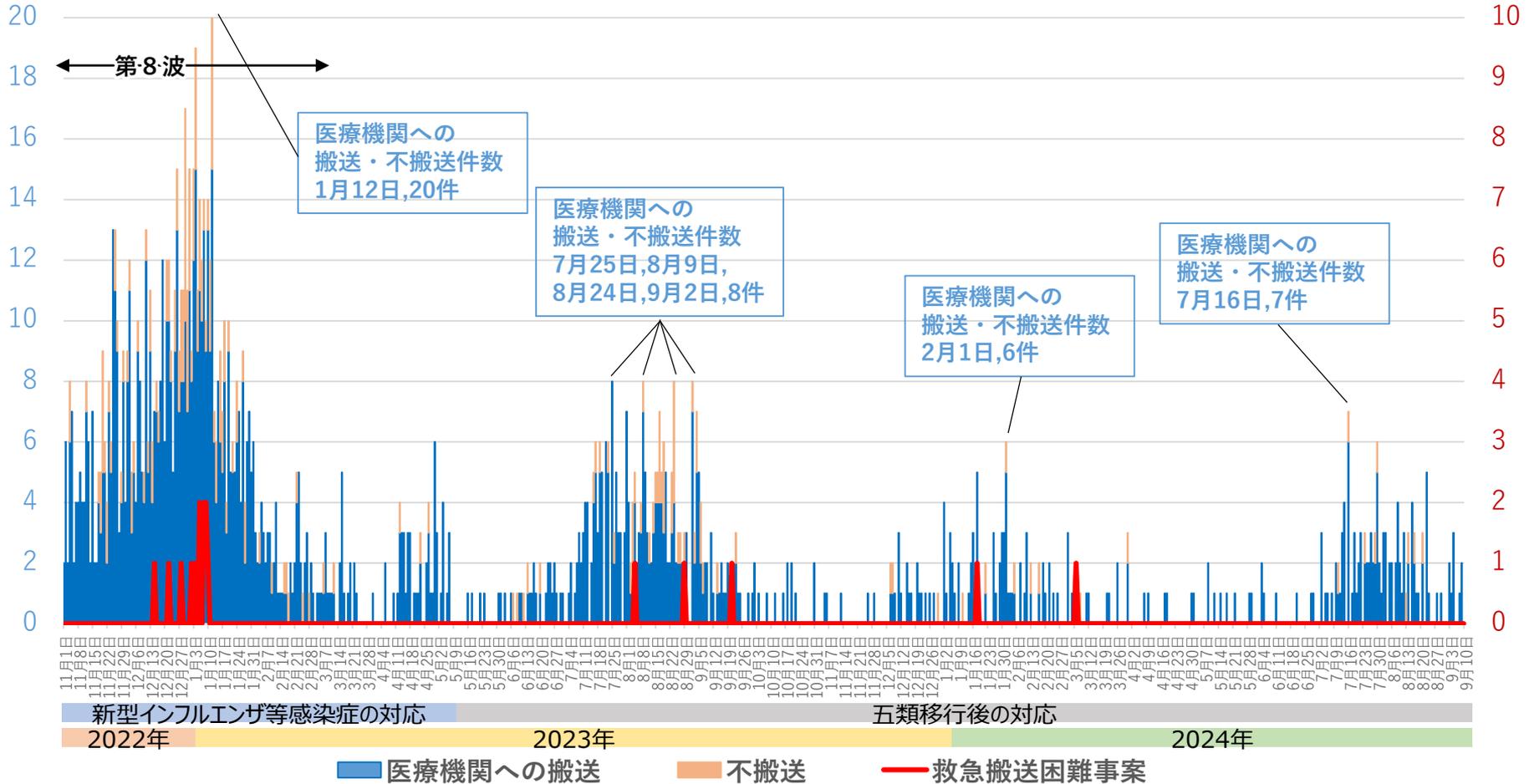


# 四日市市消防本部管内における 新型コロナ・コロナ疑い患者の救急搬送件数の推移 (R4.11.1~R6.9.10)

◆ 直近における新型コロナ・コロナ疑い患者の医療機関への搬送・不搬送件数は昨年度の同時期より低い水準となっている。

(救急搬送・不搬送件数)

(救急搬送困難事案件数)



※ 救急搬送困難事案：受入照会回数4回（4回目で搬送先医療機関が決定した事案）以上かつ現場到着から現場出発までの時間が30分以上の事案

# 【参考】今般の感染拡大に伴う本県における対応状況

## 情報共有や注意喚起について

### 【知事から県民への呼びかけ・注意喚起】

- 今般の感染拡大状況をふまえ、7月19日（金）および8月9日（金）の知事定例記者会見において、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大に伴う知事からの呼びかけを実施。
- 感染状況や**基本的な感染対策に加え、高齢者の方と会う際や、医療機関や高齢者施設等を訪問する際のマスクの着用等について呼びかけ。**



▲知事定例記者会見の様子

### 【高齢者施設等への注意喚起】

- 高齢者施設からの入院件数の増加等を受け、7月24日付けおよび8月16日付けで県内の**各高齢者施設・事業所の管理者あてに通知を发出。**
- 施設内の感染対策について改めての確認、**地域における医療体制との連携の確認について依頼**するとともに、**施設内療養の継続や退院患者の受入促進（病院に対する陰性確認の要請を控える等）について依頼。**

**高齢者等の皆さんへ**

○高齢者等の重症化リスクの高い方“ご本人”が感染しないために

- ・換気、手洗い、手指消毒、マスクなどの感染防止対策を改めて徹底
- ・イベントや観光地などの人が多く集まる場所では、より一層慎重な行動を

○お盆期間の体調不良時の備え

- ・解熱鎮痛薬、抗原定性検査キットなどを事前に準備

新型コロナウイルス感染症相談窓口（24時間対応） 電話：050-5527-5385

**高齢者等に会う予定の皆さんへ**

○重症化リスクの高い方に感染させないために

- ・お盆の帰省などで**高齢者等の重症化リスクの高い方**に会うとき
- ・**医療機関・高齢者施設等**を訪問するとき

➔ **マスクの着用を推奨!**

・発熱、せきなどの風邪症状があるときは、**無理せず休養を**

➔ **高齢者に基礎疾患のある方や、重症化リスクの高い方に“感染させないための行動”を!!**

▲県民への呼びかけ資料

### 【SNS等における感染対策等の呼びかけ】

- **SNS（X（旧Twitter）・Facebook）の県公式アカウントにおいて、感染対策について呼び掛ける投稿を繰り返し実施（8/9,8/16）**するとともに、県ホームページの新型コロナウイルス感染症の専用ページにおいても、県民への呼びかけ、注意喚起を実施。

**新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のお誘い**

手洗い・手指消毒、換気、マスクの着用、咳エチケット

**新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる場合**

発熱等の症状がある方

3日間連続して発熱が持続する、または発熱と咳や咽頭痛、呼吸困難、味覚・嗅覚障害、喉の痛み、頭痛、倦怠感、筋肉痛、下痢、嘔吐、意識障害、呼吸困難、胸痛、めまい、失音、失聴、視覚障害、皮膚症状、その他の症状が持続する場合は、速に医療機関を受診してください。

**気を付けるポイント**

高齢者の方、基礎疾患のある方、重症化リスクの高い方、医療機関・高齢者施設等へ行くときは、必ずマスクを着用してください。

リスクの高い方は大人数が集まる場面など、自ら感染予防に心がけるようにしましょう。

▲SNS投稿に添付した啓発資料

### 【県内各病院への情報共有】

- 毎週水曜日に県内の92病院から在院者数のご報告をいただいております。今般の感染拡大をふまえ、各医療機関に県全体の在院者数等の感染状況をフィードバックするとともに、**それぞれの役割に応じたコロナ患者の受入れについて協力を依頼。**（毎週水曜日の夕方にメールにて配信）

## 国への働きかけについて

### 【治療薬の負担軽減について（予定）】

- 新型コロナウイルスの経口抗ウイルス薬について、費用面での患者負担が大きいと、より効果的な治療を促進する観点から、**負担軽減に向けて支援を行うよう、国に対し、継続的に要望を実施。**

# 在院者数の把握について

- ◆ **半年間は**県独自に**県内全病院を対象とし、毎週水曜日時点の在院者数を報告いただき**、医療提供体制の把握を継続してきた。

## 新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制のモニタリングの方針（案）

### 【通常のモニタリング（国の方針）】

- 感染症発生動向調査（定点）（**発生患者（72医療機関）、新規入院患者（9病院）**）による患者数等の把握を継続する。
- 変異株の監視等を行うための**ゲノム解析**を継続。



### 【三重県独自のモニタリング】

県独自

- 定点による新規入院患者数の報告については令和5年9月25日から開始されており、年間を通じた傾向が把握できていない状況であることに加えて、確保病床が完全に廃止となることも踏まえて、半年間については、**県内全病院（令和6年3月時点：93病院）を対象**として、**毎週水曜日時点の在院者数**を報告いただき、医療提供体制の把握を継続させていただきたい。（※）
- 加えて、消防本部の協力を得て、重篤な患者の円滑な受入等にあたって特に重要な指標である**救急搬送件数の状況**（代表消防本部のみ）の把握を当面の間継続させていただきたい。

※県内全体の在院者数の把握を当面継続することで、9病院の新規入院患者数との相関関係を確認した上で、令和6年10月以降は感染症発生動向調査の新規入院患者数により状況を把握していきます。



- 三重県独自の項目も含めて医療提供体制のモニタリングを継続し、例えば、**デルタ株のように重症度の高い変異株の検出**や、**5類感染症移行後の最大の在院者数に至る**など、医療提供体制のひっ迫の兆候が見られる場合には、関係機関と連携のうえ課題を整理し、必要に応じて対策を検討することとしたい。

（令和6年3月27日 新型コロナウイルス感染症対策協議会資料より抜粋）

# 基幹定点と在院者数による把握の比較について

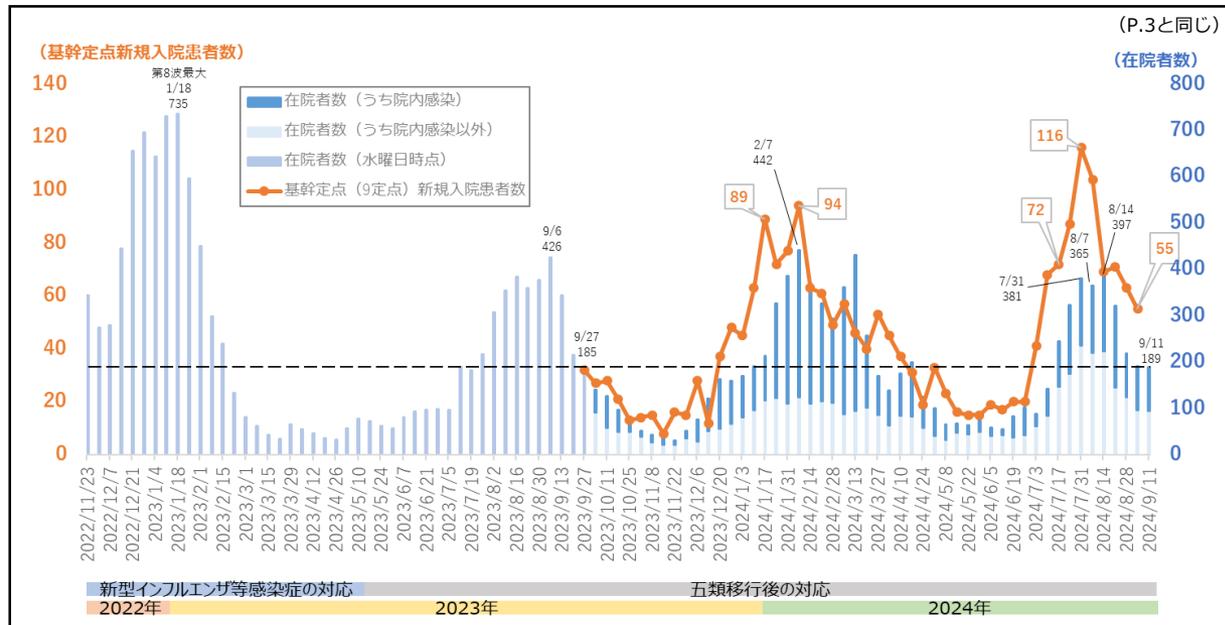
## 基幹定点及び在院者数について

	調査内容	調査対象	調査項目
<b>基幹定点</b> (感染症法に基づき実施)	<b>1週間</b> における <b>新規入院患者数</b> を調査	<b>基幹定点医療機関</b> (9医療機関(各保健所管内に1医療機関))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月～日の1週間における新規入院患者数(院内発生を含む)</li> <li>・管轄保健所</li> <li>・性別</li> <li>・年齢</li> <li>・ICU・人工呼吸器使用の有無</li> </ul>
<b>在院者数</b> (県独自に実施)	<b>毎週水曜日時点</b> における <b>入院患者数</b> を調査	県内 <b>全92病院</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在院者数</li> <li>・うち重症患者数</li> <li>・うち中等症Ⅱ患者数</li> <li>・うち院内感染患者数</li> </ul>

## 両データにおける特徴等

◆ **在院者数の増加に先んじて、基幹定点における新規入院患者数の増加がみられるが、全体的な増減については近い形で推移している。**

◆ 一方で、令和6年3月上旬のような院内感染を主な要因とする増加時は異なる推移となっている。



# モニタリングに係る今後の対応方針（案）

- 基幹定点による新規入院患者数については、**在院者数の増加に先んじて、増加する傾向**となっているものの、**在院者数の推移とおおむね同様の推移であることが確認できた**ことから、令和6年9月末で「全病院を対象とした在院者数の調査」は終了し、**令和6年10月以降は、基幹定点による新規入院患者の調査により、モニタリングを行うこと**としたい。
- 加えて、代表消防本部の協力を得て実施していた救急搬送件数の状況把握についても令和6年9月末をもって終了としたい。



## 【令和6年10月以降のモニタリング（案）】

- 感染症発生動向調査（定点）（発生患者（72医療機関）、新規入院患者（9病院））による患者数等の把握。
- 変異株の監視等を行うためのゲノム解析。

ただし、モニタリングを実施するなかで、重症度の高い変異株が検出されたり、定点医療機関当たり患者報告数が第8波の感染拡大時の状況に近づくなど、**医療提供体制にひっ迫の兆候が見られる場合には、関係機関と連携のうえ状況を把握するとともに、課題を整理し、必要に応じて対策を検討すること**としたい。

## 【参考】10月以降の対応（案）

事 項	令和6年9月末まで	令和6年10月以降
モニタリング	感染症発生動向調査（定点） （発生患者（72医療機関） 新規入院患者数（9病院））による患者数の把握。	継続
	変異株の監視等を行うためのゲノム解析を継続。	継続
	半年間、県内全病院（92病院：令和6年4月現在）を 対象として、毎週水曜日時点の在院者数を把握。	9月末で終了し、基幹定点による新規入院患者数の把握 に移行。 ただし、重症度の高い変異株の検出や、定点医療機関 当たり患者報告数が第8波の感染拡大時の状況に近づ くなど、医療提供体制のひっ迫の兆候が見られる場合 には、関係機関と連携のうえ状況を把握するとともに、 課題を整理し、必要に応じて対策を検討。
	救急搬送件数の状況（代表消防本部のみ）を当面の間、 継続。	
入院調整の支援	病院によって受入可能な患者の条件が異なることから、 医療機関間による入院調整を支援するため「みえ入院 調整支援システム」による対応可能な医療機関等の情 報提供を継続。	当面の間、継続
相談窓口	制度変更による混乱が生じないよう、県民向けの一般 相談や、新型コロナワクチン接種にかかる相談など24 時間対応可能な電話相談窓口を継続。	当面の間、継続